脇道を歩く

川柳句集

脇道を歩く

川柳句集　脇道を歩く

平成十年十一月十五日印刷
平成十年十一月二十日発行

著者　藪田樂川

発行所　横濱柳壇
〒二四六―〇〇三一
横浜市瀬谷区瀬谷六―四―八

印刷所　青木印刷株式会社
〒五一三―〇八二六
鈴鹿市住吉一―三四―八

頒価　¥2100

川柳句集

脇道を歩く

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.c

わき道にひっそり生きて名無し草

樂川

目次

第一章……（平成八年後半）……七
第二章……（平成九年前半）……三九
第三章……（平成九年後半）……七一
第四章……（平成十年前半）……一〇五
補章……（平成十年七月）……一三七
あとがき……一四五

第一章

（平成八年後半）

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.c

種明かしされて畏敬の遠ざかり

簡単に見えて戸惑う隠し味

燃え盛る陽が神話から脱けて出る

少数派でも日の丸は生きている

口に合わなくてグルメの辛いこと

言い訳を負い目がチクリ刺している

裏の裏案じて心伝わらず

透明な心にあった屈折度

無防備だから裏側の襞を見せ

排気ガス被りはじめた鄙の宿

残月に昨夜の恋の忘れ物

大当り知ってたような残り籤

プランターともかく咲いた小さい花

家計薄に義理の重みが載っている

観察は親より冴えて子は育ち

タイミングずれて菩薩の牙が見え

群羊を仕切って犬の駆け抜ける

敬老は年に一度の日で済ませ

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.c